

ひがしのしょうがっこう  
東野小学校のみなさんへ

なが やす  
長いお休みになってしまいました。こうちょうせんせい  
校長先生は、こんなになが みんなにあえ  
ないなんておも  
おもってもみませんでした。まいにちまいにち  
毎日毎日、「どうしているかな?」「元気に  
やっているかな?」「さんすう もんだい  
算数の問題がわからなくてこまっ  
まっっていないかな?」「おう  
ちの人となかよくしているかな?」・・・と、こうてい  
校庭をながめては、みんなのこと  
をおも  
おもっています。

げんき  
元気いっぱい  
のみなさんがいない学校は、ひ き  
火が消えたようにしず  
かでさみしい  
です。みんなのえがお げんき  
笑顔や元気なあいさつがなつかしく、いちにち はや かっ  
き  
一日も早く活気のある毎日  
をおく ひ  
おく  
ひ  
を送れる日がくることをこころ ねが  
心から願います。

せんせい  
先生たちは、いま けいけん  
今まで経験したことの  
ないしんがっき  
新学期にとまどいながら、きょうしつ  
教室の  
けいじぶつ つく  
けいじぶつ  
つ  
く  
掲示物を作ったり、じゅぎょう じゅんび  
じゅぎょう  
じゅんび  
授業の準備をしたりして、がっこう はじ  
がっこう  
はじ  
学校がいつ始まってもいいよう  
にしごと  
しごと  
をしています。せんせい こ だいす  
せんせい  
こ  
だいす  
先生たちは子どもが大好きなので、みんなにあえ  
ないまいにち  
毎日  
はげんき  
げんき  
がないように見えます。はや  
早くみんなのパワーがほしいです。

さて、4月もあと1週間で終わります。べんきょう  
べんきょう  
勉強しなういうちに・・・とおも  
おも  
うか  
もしれませんが、まな がっこう  
まな  
がっこう  
学びは学校だけではなく、せいかつ なか  
せいかつ  
なか  
生活の中にもたくさんあります。  
いま きょうりよく  
いま  
きょうりよく  
今も協 力すること、がまん  
がまん  
我慢すること、いのち まも  
いのち  
まも  
命を守ることをまな  
まな  
学んでいます。

さらに、「このチャンスを生かす」と考えて、ふだんやろうと思っ<sup>おも</sup>ていても、  
なかなか手<sup>て</sup>をつけられなかったことにチャレンジしてみるとよいです。

たとえばお手伝い<sup>てっだ</sup>があります。難<sup>むずか</sup>しいかなあと思っ<sup>おも</sup>ていたことにも、こつを教<sup>おし</sup>  
えてもらいながら挑<sup>ちょうせん</sup>戦<sup>せん</sup>してみてください。(お料理<sup>りょうり</sup>、おそうじ、かたづけなど)

また、じっくりと本<sup>ほん</sup>をよ<sup>よ</sup>むこともいいです。読<sup>よ</sup>む本<sup>ほん</sup>がみ<sup>み</sup>あたらない人は、国語<sup>こくご</sup>  
の教科書<sup>きょうかしょ</sup>をよ<sup>よ</sup>んでみてください。教科書<sup>きょうかしょ</sup>は、選<sup>よ</sup>りすぐりの物<sup>もの</sup>語<sup>ご</sup>文<sup>ぶん</sup>や説<sup>せつ</sup>明<sup>めい</sup>文<sup>ぶん</sup>があ  
りますからね。

その他<sup>ほか</sup>に、ストレッチなど家<sup>いえ</sup>の中<sup>なか</sup>でできる運<sup>うんどう</sup>動<sup>どう</sup>も大<sup>だい</sup>事<sup>じ</sup>です。毎<sup>まい</sup>日<sup>にち</sup>続<sup>つづ</sup>けましょ

もちろん、宿<sup>しゅくだい</sup>題<sup>だい</sup>になっ<sup>な</sup>っている勉<sup>べんきょう</sup>強<sup>きょう</sup>もわ<sup>わす</sup>れず<sup>ず</sup>にやっ<sup>や</sup>ってくださ<sup>さ</sup>いね。

毎<sup>まい</sup>日<sup>にち</sup>登<sup>とう</sup>校<sup>こう</sup>して、勉<sup>べんきょう</sup>強<sup>きょう</sup>して、あそ<sup>あそ</sup>び<sup>び</sup>で、給<sup>きゅうじよく</sup>食<sup>じよく</sup>を食<sup>た</sup>べて、おそうじして・・・と  
あたりまえにできていたことができなくなると、ふつうに生<sup>せい</sup>活<sup>かつ</sup>できることがど  
んなに幸<sup>しあわ</sup>せなこ<sup>こ</sup>とか・・・と思<sup>おも</sup>います。

みんなはこの休<sup>やす</sup>みのあ<sup>あいだ</sup>間<sup>かん</sup>、ど<sup>お</sup>んなこ<sup>こ</sup>とを思<sup>おも</sup>い、ど<sup>かん</sup>んなこ<sup>こ</sup>とを考<sup>かんが</sup>えたでし<sup>し</sup>ょうか。

今<sup>こん</sup>度<sup>ど</sup>聞<sup>き</sup>かせてください。

今<sup>いま</sup>は、自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の命<sup>いのち</sup>、家<sup>か</sup>族<sup>ぞく</sup>など大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>な人<sup>ひと</sup>の命<sup>いのち</sup>をまも<sup>まも</sup>るために、外<sup>そと</sup>に出<sup>で</sup>ることはさ  
けて、おうちで過<sup>す</sup>ごしましょ<sup>う</sup>。元<sup>げん</sup>気<sup>き</sup>でい<sup>い</sup>てください。



令和2年4月23日  
校長 下飛田 理恵子